

沖縄県内の主要構造物



(1) 橋梁延長ベスト10

順位	路線名	橋梁名	延長	完成年	橋形	備考
1	伊豆山線	伊豆山大橋	3,540	1976	固定橋梁	県
2	宮古線	高平橋(つら)大橋	1,990	1910	中央橋脚 鋼桁橋	県
3	琉球交通線	東照(くさ)大橋	1,980	195	固定橋梁	国
4	国道500号	宜野湾(みぎ)大橋	1,926	1919	固定橋梁	国
5	国道370号	牛嶋(うし)大橋	1,917	1917	固定橋梁	国
6	琉球交通線	船越大橋	1,428	193	固定橋梁	県
7	伊豆山線	石文橋	1,118	201	鋼桁橋	国
8	国道500号	嘉手賀(かてが)大橋	1,092	1912	固定橋梁	国
9	国道500号	宮城(みやぎ)大橋	1,074	1910	固定橋梁	国
10	国道397号	高城(たかぎ)大橋	931	1924	鋼桁橋	国

(2) トンネル 延長ベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長	完成年	橋形	備考
1	国道58号	名護(なご)大橋(新設)トンネル	1,876	1919	固定橋梁	県
2	国道500号	宜野湾(みぎ)大橋(新設)トンネル	1,424	1919	固定橋梁	県
3	国道58号	伊豆山(いず)大橋(新設)トンネル	1,174	201	固定橋梁	県
4	国道500号	船越(ふね)大橋(新設)トンネル	1,170	1922	固定橋梁	国
5	国道500号	牛嶋(うし)大橋(新設)トンネル	1,141	1923	固定橋梁	国
6	国道500号	嘉手賀(かてが)大橋(新設)トンネル	1,040	200	固定橋梁	国
7	国道58号	石文(いぶん)大橋(新設)トンネル	910	194	固定橋梁	県
8	国道500号	嘉手賀(かてが)大橋(新設)トンネル	884	1923	固定橋梁	国
9	国道500号	宮城(みやぎ)大橋(新設)トンネル	589	192	固定橋梁	国
10	国道397号	高城(たかぎ)大橋(新設)トンネル	521	192	固定橋梁	国

やんばるの道は気をつけて走ろう

本島北部のやんばる地域は、亜熱帯の森林が広がり、ヤンバルクイナ等の多くの固有種が生息していますが、その稀少動物が路上へ出現し、交通事故にあっています。
 沖縄県では、小動物が路上を横断する道路のために道路下にアンダーパスの整備を行っています。
 また小動物が落下しても脱出できる勾配準備や階段付きマス等の整備も行っています。
 交通事故を防ぐためには、自動車のスピードをおさえるのがもっとも効果的です。やんばるの道は、ゆっくり余裕をもって走りましょう。ドライバーの皆さん一人ひとりの、やさしい心がけをお願いします。

日本風景街道
 日本風景街道は、全国各地の道を舞台とした様々な活動に対してできる限り門戸を広げることにより多様な観光街道を実現し、また、日本風景街道を国民的な運動として全国に展開することを目的に2007年9月より風景街道を公募することになりました。沖縄地区については東北、南部のパートナーシップが活動しております。

沖縄地方風景街道協議会 事務局
 住所: 〒900-8530 沖縄県北谷町1丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号棟
 担当: 沖縄総合事務局 道路建設課 道路整備係
 TEL: 098-861-1314(直通) FAX: 098-861-0928 お問い合せ受付時間 平日 9:00~17:00
 E-mail: doukousensaku@qb.cao.go.jp
 http://www.dc.cab.go.jp/read/r/tuke/index.html

世界遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群



1 今帰仁城跡



琉球に統一王朝が成立(1429年)される要衝の三山時代(北山、中山、南山)の北山を築いた王國の跡地。1418年に北山が中山によって滅ぼされた後には、琉球王宮から南遷された北山監守の居城となった。史跡に指定されている。

2 座喜味城跡



1420年代に有力な役所であった座喜味(まきみ)によって築かれた城。北山が滅びた後にもその活動力を失った。座喜味は、1458年に中山の王によって築かれた。史跡に指定されている。

3 勝連城跡



琉球王國の王権が安定していく過程で、王宮に後継者で北山、北山が滅びた後、南遷した北山の王が、南遷した北山を築いた。史跡に指定されている。

4 中城城跡



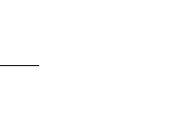
1420年代に有力な役所であった中城(なかくすく)によって築かれた城。北山が滅びた後にもその活動力を失った。中城は、1458年に中山の王によって築かれた。史跡に指定されている。

5 首里城跡



首里城は、三山時代は中山国主の居城であったが、1479年の琉球王國統一後は1970年に至るまで、琉球王國の王権が安定していく過程で重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

6 園比屋武御室石門



園比屋武御室石門は、第二尚氏王統第3代王の御居(在位1477~1526)によって新築された石門で、門内東側の石門は琉球王國の中心地となっていた。門は重要文化財に、門とその遺構は史跡「首里城跡」の一部である。

7 玉陵



第二尚氏王統第3代王の御居(在位1477~1526)によって築かれた第二尚氏王統の墓。琉球王國の王権が安定していく過程で重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

8 識名園

1789年に造営された王宮の別荘の遺蹟。王族の御居の地として使われただけでなく、中絶直前の後裔である御居に埋葬する場所としても使われ、王宮の発展に重要な役割を果たした。識名園は、近世日本の琉球地方において成立した独自の園芸文化を伝える重要な場所である。特別名勝に指定されている。

9 斎場御嶽

第二尚氏王統第3代王の御居(在位1477~1526)が築いた国家的な祭壇。琉球王國の王権が安定していく過程で重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

沖縄県の道路



主要地方道 沖縄環状線

2016

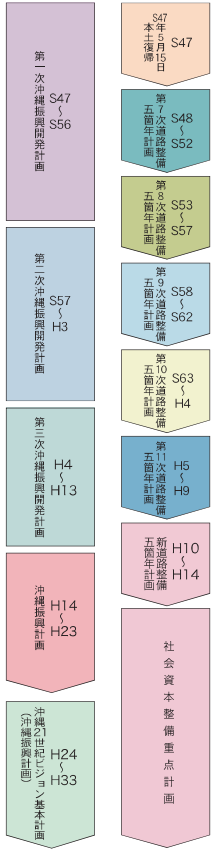
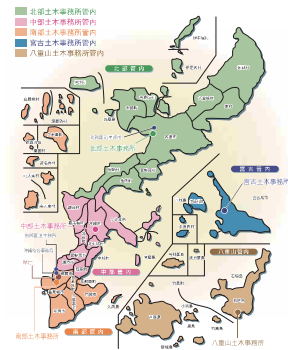


2016年 沖縄県の道路
 発行 沖縄県土木建築部

沖縄県の道路 ~美ら島・うまんちゅの道づくり~

CONTENTS

沖縄の概要	1
道路の状況	2
交通の状況	3
1.機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)	3
2.自動車保有台数	3
3.レンタカーの状況	3
4.交通量(平成22年度交通センサスより)	4
5.渋滞状況	5
道路の予算	6
道路の計画	7
道路の整備	12
1.高規格幹線道路	12
2.地域高規格道路	13
3.一般国道(指定区間)	15
4.一般国道(指定区間外)	17
5.主要地方道	19
6.一般県道	22
7.街路	25
8.交通安全・無電柱化・道路保全	31
9.道路の維持管理	33
10.市町村道	34
11.懸吊架橋	35
12.沖縄都市モノレール	36
資料	37



沖縄県の道路 — 沖縄の概要

沖縄県は、我国の最南西端に位置し、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域と、点在する49の有人島を含む160の島しょから構成される離島県であります。

人口は昭和30年代から都心部を中心に急激に増加し、県土面積の約20%にあたる沖縄本島中南部に全人口の約82%が集中し、県土面積の約45%を占める離島の人口比率は約10%にすぎず、本島中南部における過密化と、離島へき地における過疎化が進んでいます。

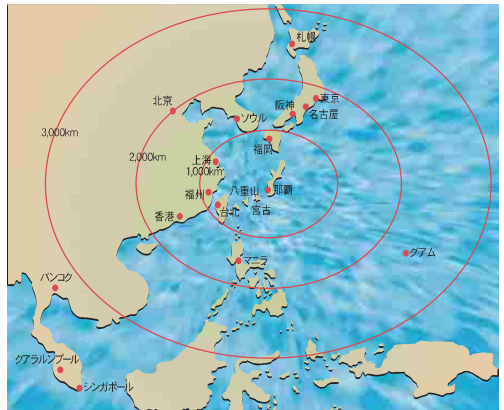
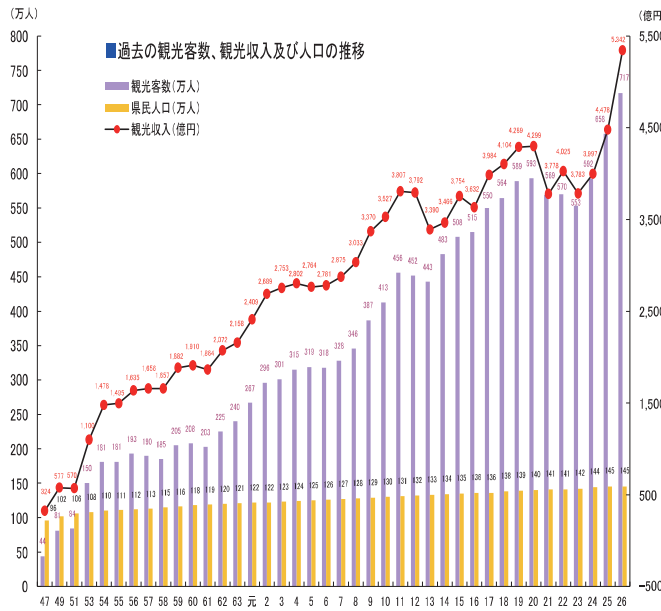
本県は、日本では唯一の亜熱帯性気候と豊かな青い海、明るい太陽のもと、古くは、「琉球」という独立国家の形態をとりながら、南方諸国や中国等との交易を通じて栄え、他県では見られない独特の琉球文化を育んできましたが、1879

年(明治12年)の琉球処分により日本へ帰属し沖縄県が誕生しました。

第二次大戦後は米国の軍事基地としてその施政権下におかれ、1972年5月15日、本土復帰が実現し今日に至っています。

平成17年4月1日に、石川市、具志川市、与那城町、勝連町がうるま市、平成17年10月1日には平良市、城辺町、下地町、伊良部町、上野村が宮古島市、さらに平成18年1月1日に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が南城市、同日に東風平町、具志頭村が八重瀬町へそれぞれ合併し、これによって県下自治体数は、11市11町19村(平成27年4月1日現在)となりました。

沖縄の概要



順位	名称	面積(km ²)	人口	順位	名称	面積(km ²)	人口
1	沖縄本島	1,206.96	1,311,938	11	多良間島	19.81	1,211
2	西表島	289.61	2,319	12	渡嘉敷島	15.31	672
3	石垣島	222.25	48,662	13	伊是名島	14.12	1,535
4	宮古島	158.87	48,208	14	波照間島	12.73	537
5	久米島	59.53	8,243	15	北大東島	11.93	574
6	南大東島	30.53	1,261	16	下地島	10.02	209
7	伊良部島	29.06	5,377	17	下地島	9.68	40
8	与那国島	28.95	1,491	18	小浜島	7.86	634
9	伊江島	22.76	4,715	19	屋我地島	7.82	※
10	伊平屋島	20.66	1,200	20	伊平屋島	7.62	756

出展：入域観光客数、観光収入 / 県観光政策課「平成26年版観光要覧」
観光収入については統計手法の変更により、昭和51年から平成13年以前については遡及修正する。
また、平成17年度までは暦年の数値、平成18年度以降は年度の数値となっている。
県民人口 / 県市町村課「住民基本台帳人口」(平成26年度については平成27年1月1日現在)

出展：人口 / 県市町村課「島しょ別住民基本台帳人口及び世帯数(平成27年1月1日現在)」
面積 / 国土地理院「平成27年全国道府県市区町村別面積調(平成27年10月1日現在)」
※：屋我地島の人口は沖縄本島に含む

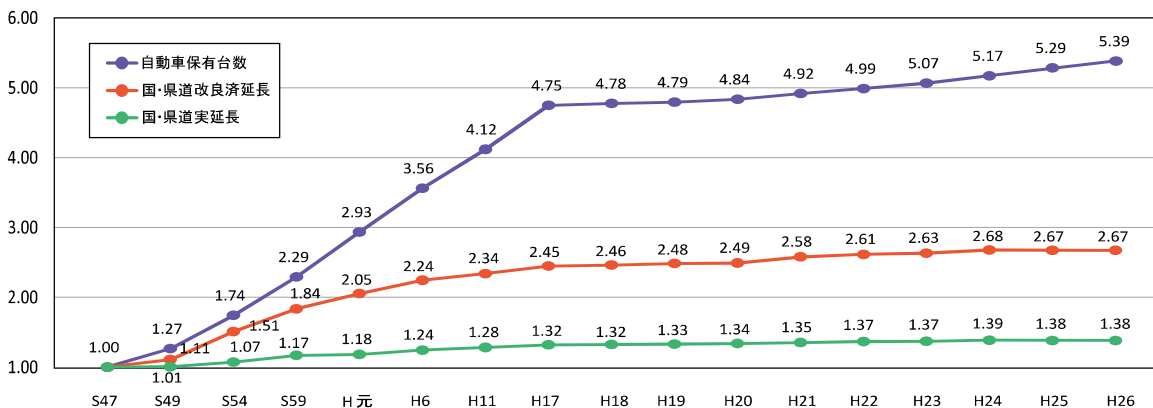
市町村一覧

(単位) 人口:人、世帯数:世帯、面積:km²、人口密度:人/km²

市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度	市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度
県計	1,454,023	610,129	2,281.13	637	うるま市	121,521	48,419	87.01	1,397
市部計	1,124,472	477,060	976.36	1,152	宮古島市	54,706	25,173	204.20	268
那覇市	323,184	144,291	39.57	8,167	南城市	42,178	15,729	49.94	845
宜野湾市	96,663	41,208	19.80	4,882	郡部計	329,551	133,069	1,304.77	253
石垣市	48,927	22,909	229.34	213	国頭郡	66,384	29,808	577.24	115
浦添市	114,245	46,953	19.48	5,865	中頭郡	155,185	59,921	107.31	1,446
名護市	62,081	27,727	210.90	294	島尻郡	101,049	39,724	234.88	430
糸満市	60,128	23,993	46.62	1,290	宮古郡	1,231	521	21.99	56
沖縄市	139,181	57,215	49.72	2,799	八重山郡	5,702	3,095	363.35	16
豊見城市	61,658	23,443	19.60	3,146					

出展：県市町村課「平成27年住民基本台帳人口・世帯数、平成26年度人口動態」、国土地理院「平成27年全国道府県市区町村別面積調」
注1：人口及び世帯数については、平成27年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている数値である。
注2：面積については、平成27年10月1日現在の国土交通省国土地理院調査による。

■道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



出典：1. (自動車保有台数)は、沖縄総合事務局法運事務所「業務概況(平成27年版)」 2. (改良延長、実延長)は、沖縄県土木建築部道路管理課「道路施設現況調査(平成26年4月1日現在)」

道路の現況

■全国・沖縄道路の普及率比較

道路統計年報(2014年版) 平成25年4月1日現在

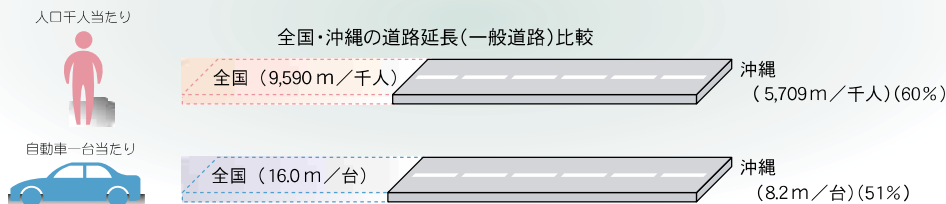
道路種別	全国 沖縄 県別	実延長		改良済延長		舗装済延長		人口千人当り 道路延長		人口千人当り 改良済延長		人口千人当り 舗装済延長		車千台当り 道路延長		車千台当り 改良済延長		車千台当り 舗装済延長		面積km ² 当り 道路延長		整備済延長		
		(A)	(B)	B/A* 100	(C)	C/A* 100	延長	比率	延長	比率	延長	比率	延長	比率	延長	比率	延長	比率	延長	比率	延長	率	B/A* 100	
高速 自動車国道	全国	8,427.7	8,427.7	100.0	8,427.7	100.0	66	100.0	66	100.0	66	100.0	110	100.0	110	100.0	110	100.0	110	100.0	22	100.0	-	-
	沖縄	57.3	57.3	100.0	57.3	100.0	40	60.8	40	60.8	40	60.8	58	52.4	58	52.4	58	52.4	58	52.4	25	112.7	-	-
一般国道 (指定区間)	全国	23,708.9	23,704.5	100.0	23,691.2	99.9	187	100.0	187	100.0	186	100.0	310	100.0	310	100.0	310	100.0	310	100.0	63	100.0	14,969.1	63.1
	沖縄	333.2	333.2	100.0	333.2	100.0	234	125.7	234	125.7	234	125.8	336	108.3	336	108.3	336	108.3	336	108.4	146	232.9	217.5	65.3
一般国道 (指定区間外)	全国	31,917.5	27,700.2	86.8	27,840.7	87.2	251	100.0	218	100.0	219	100.0	417	100.0	362	100.0	364	100.0	364	100.0	84	100.0	22,126.3	69.3
	沖縄	170.5	164.8	96.7	159.4	93.5	120	47.8	116	53.2	112	51.2	172	41.2	166	45.9	161	44.1	161	44.1	75	88.5	147.5	86.5
一般国道	全国	55,626.4	51,404.7	92.4	51,531.9	92.6	438	100.0	404	100.0	405	100.0	727	100.0	672	100.0	673	100.0	673	100.0	147	100.0	37,095.4	66.7
	沖縄	503.7	498.0	98.9	492.6	97.8	354	81.0	350	86.6	347	85.5	507	69.8	502	74.7	496	73.7	496	73.7	221	150.0	365.0	72.5
主要地方道	全国	57,872.2	45,452.1	78.5	43,029.5	74.4	455	100.0	358	100.0	339	100.0	756	100.0	594	100.0	562	100.0	562	100.0	153	100.0	36,214.3	62.6
	沖縄	405.8	375.4	92.5	387.6	95.5	286	62.7	264	73.9	273	80.6	409	54.0	378	63.7	390	69.4	390	69.4	178	116.2	312.0	76.9
一般 都道府県道	全国	71,429.2	44,596.0	62.4	40,039.8	56.1	562	100.0	351	100.0	315	100.0	933	100.0	583	100.0	523	100.0	523	100.0	189	100.0	38,337.2	53.7
	沖縄	655.0	582.2	88.9	561.6	85.7	461	82.0	410	116.8	395	125.4	660	70.7	586	100.6	566	108.1	566	108.1	287	151.9	510.3	77.9
都道府県 道計	全国	129,301.4	90,048.1	69.6	83,069.3	64.2	1,017	100.0	709	100.0	654	100.0	1,689	100.0	1,176	100.0	1,085	100.0	1,085	100.0	342	100.0	73,659.6	57.0
	沖縄	1,060.8	957.6	90.3	949.2	89.5	747	73.4	674	95.1	668	102.2	1,068	63.2	964	82.0	956	88.1	964	88.1	465	135.9	822.3	77.5
市町村道	全国	1,025,416.2	597,250.6	58.2	197,781.7	19.3	8,069	100.0	4,700	100.0	1,556	100.0	13,397	100.0	7,803	100.0	2,584	100.0	2,584	100.0	2,713	100.0	592,815.0	57.8
	沖縄	6,491.3	4,145.2	63.9	2,585.8	39.8	4,568	56.6	2,917	62.1	1,820	116.9	6,537	48.8	4,174	53.5	2,604	100.8	2,604	100.8	2,846	104.9	4,123.4	63.5
計	全国	1,218,771.7	747,131.1	61.3	340,810.6	28.0	9,590	100.0	5,879	100.0	2,682	100.0	15,924	100.0	9,761	100.0	4,453	100.0	4,453	100.0	3,225	100.0	703,570.0	57.7
	沖縄シェア	0.7	0.8		1.2																			0.8

(注) 各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。全国面積377,962km²、沖縄2,277km²、全国総人口127,298千人、沖縄1,415千人、全国自動車台数75,934千台、沖縄973千台である。改良済延長で国道、県道は5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装を除く。

●道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約5~6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



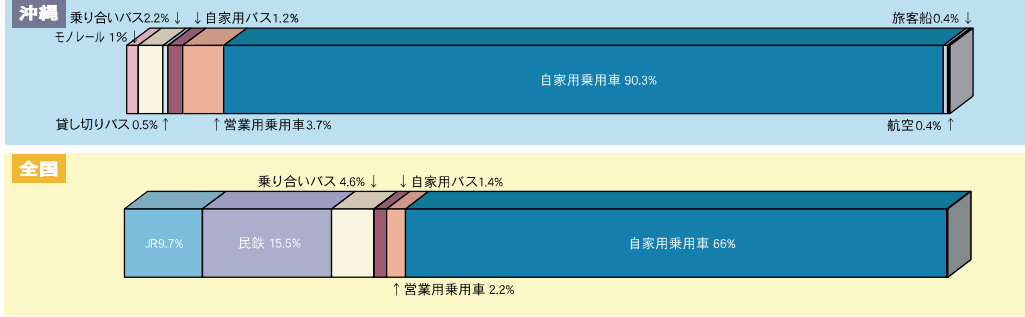
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料：道路統計年報 (2015年版)

1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを自動車に依存しており、道路の役割は重要です。

特に自家用乗用車の分担率は年々上昇を続け、平成21年度には約9割となっています。



資料：「平成21年度 旅客地域流動調査」

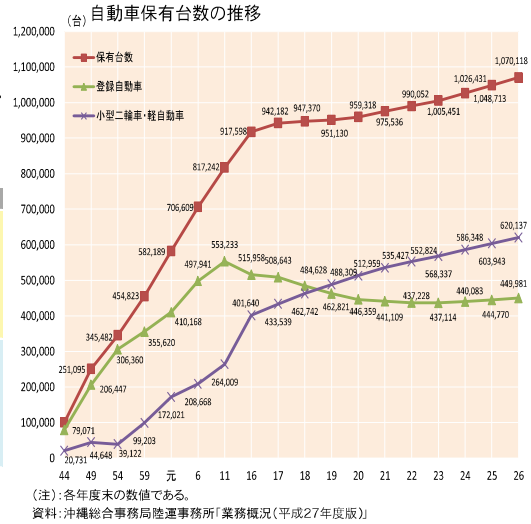
2. 自動車保有台数

県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、平成26年度末には約5倍となり、一世帯に1.7台になりました。

■ 自動車三輪以上の保有率

	項目	S47年度末	H26年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	1,013	5.12
	人口 (千人)	981	1,454	1.48
	世帯数 (千世帯)	237	610	2.57
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.70	3.45
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.66	1.99
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	76,921	3.57
	人口 (千人)	107,332	128,226	1.19
	世帯数 (千世帯)	29,577	56,412	1.91
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.60	2.99
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.36	1.87

資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成27年1月1日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2015年6月号)」による。

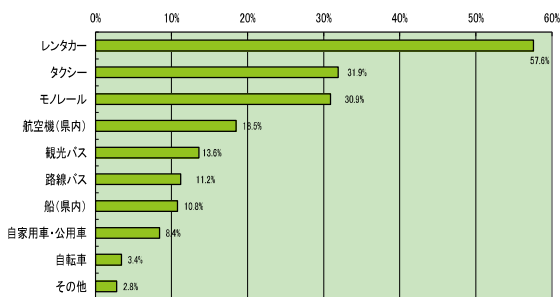


(注)：各年度末の数値である。
資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成27年度版)」

3. レンタカーの状況

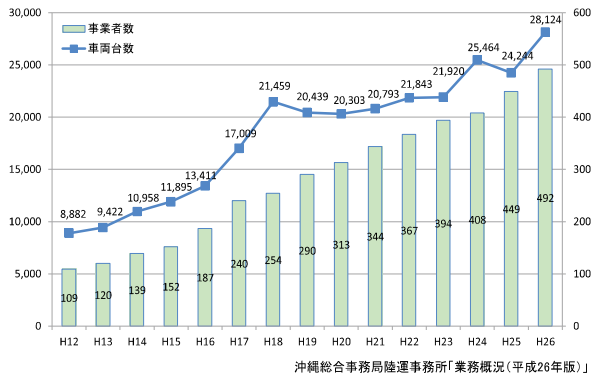
沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、平成26年度には492事業所(営業所含む)、許可車両台数28,124台となっています。平成12年度と比べて比較すると、事業所数で4.5倍(383事業所増)、車両台数で3.2倍(19,242台増)となっています。

■ 利用交通機関



資料：平成26年度観光統計実態調査

レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成26年版)」

4. 交通量 (平成22年度道路交通センサスより)

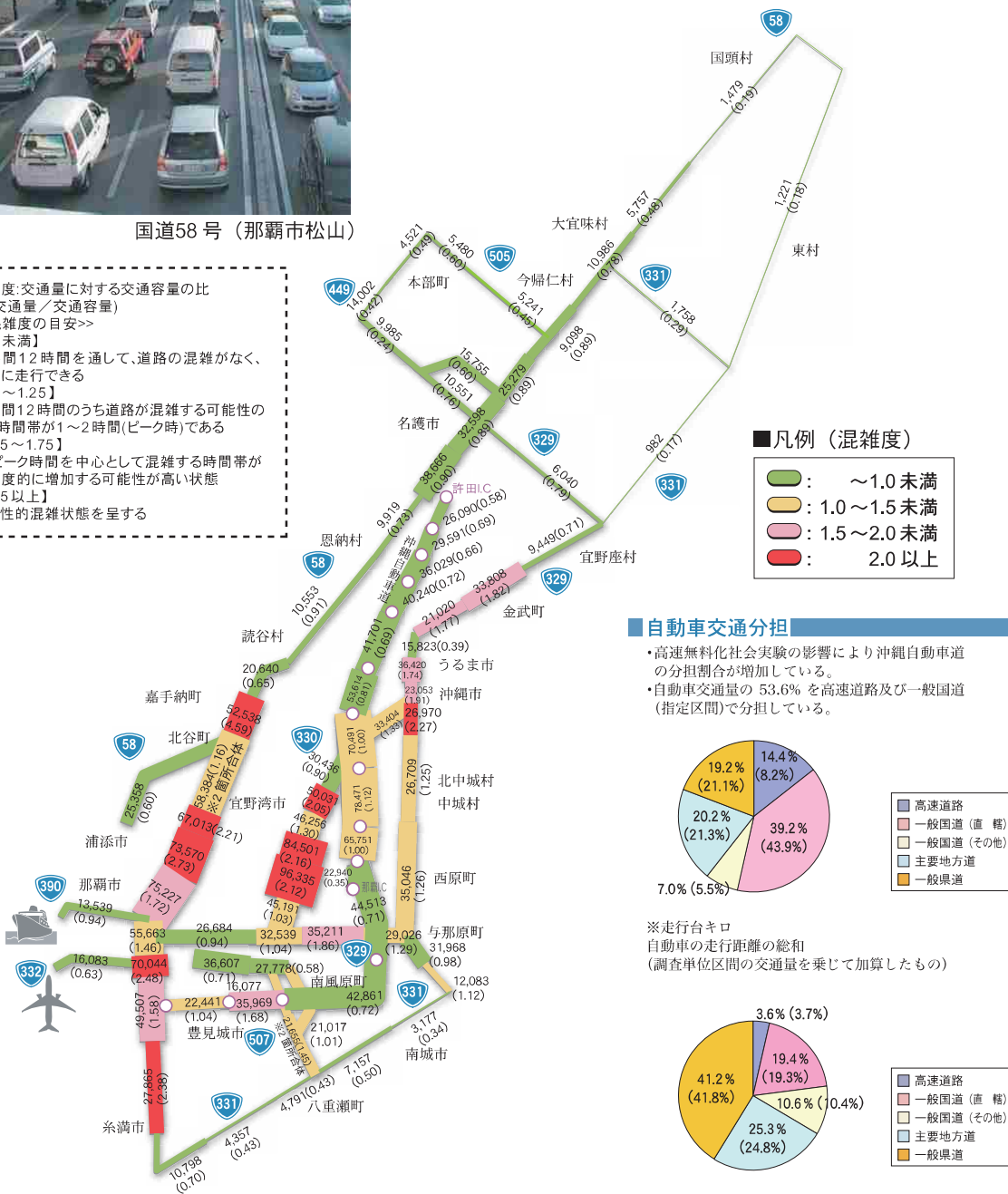


国道58号 (那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。また、休日でも主要観光地周辺の交通量は、平日を上回っています。(数値は平日24時間交通量)
平成22年度は、高速無料化社会実験の影響により、平成17年度に比べて沖縄自動車道の交通量が増加しています。

交通の状況

混雑度:交通量に対する交通容量の比
(=交通量/交通容量)
<<混雑度の目安>>
【1.0未満】
昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる
【1.0~1.25】
昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である
【1.25~1.75】
ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態
【1.75以上】
慢性的混雑状態を呈する



5. 渋滞状況

■ 渋滞

三大都市圏と同等の渋滞状況

那覇市、浦添市及び沖縄市等における道路混雑時の旅行速度は、東京23区などの三大都市圏と同等の低い水準となっています。

交通の状況

